



### あやせ健康・食育プラン21の課題や今後の取り組みは

あやせ未来会議 佐竹 百里

#### ●健康維持のための食育について

Q 生活習慣の改善は、将来の病気の予防につながるが、市あやせ健康・食育プラン21の課題や今後の取り組みは。

A 本市は、メタボリックシンドロームの該当率などが県平均より高い状況である。今後は、自主的に体を動かす習慣や食事の取り方の仕組みづくりに取り組みたい。

Q 働く世代の方に食育の意識を持ってもらう必要があると考えるが、市の考えは。

A 健康的な食事を選択する意識付けや野菜から食べる習慣の啓発などに取り組みたい。



9月26・27日、新型コロナウイルス感染防止対策をして、中学校の文化祭が開催されました。展示品の様子<綾瀬市オーエンス文化会館にて>

Q 市内商品を市外へ発送する際、市のPRチラシを同封することで認知度が上がると思う。市が行ってきたPRの現状と今後の取り組みは。

A 活性化応援寄附金制度の推進により、返礼品を通じてPRなどを行ってきた。今後は、発送時にPR媒体を貼り付けるなど、全庁的に取り組み、PRの強化に努めたい。

Q 稼ぐ「道の駅」について。道の駅では、稼ぐ視点が重要になると考えるが、どう展開していくのか。

A 経営の基本を押さえた上で収益を確保し、長く安定した経営を保つため、今後、ノウハウのある、よりよい指定管理者の選定に取り組む。



### 介護施設などだけでなく医療保育へも抗原検査助成を

日本共産党 上田 博之

#### ●社会活動を支えるPCR検査などの拡充を

Q 6月定例会で求めた高齢者施設などでの新型コロナウイルス抗原検査実施を評価するが、医療や教育、保育などの施設でも実施しないか。

A 集団感染が生じやすい場合、濃厚接触者以外も検査対象として拡大されており、対策が強化されている。

Q インフルエンザとの同時流行に備え、60歳以上の予防接種費用を無料とし、子どもたちへも助成をしないか。

A 予防接種法に定められた方へ優先的に接種することが第一であるため、現時点で子どもを含む任意接種者は助成対象として考えていない。

#### ●感染症対策と避難所の運営

Q 感染の疑いがある避難者を保護するため、校庭などに大型のエアータントを設置する準備を開始しないか。

A 校庭は避難者用駐車場の確保が必要であり、一部避難所は緊急用ヘリポートに指定されているため、現時点での導入は考えていない。

Q 全てのクラスを35人以下に。新型コロナウイルス禍では、35人以上の学級をなくすことは喫緊の課題である。本市では、9学級増やせば実現できるが、実施しないか。

A 少人数学級の推進は有効だが、教員の増員など課題が多く、早急に対応することは難しいと考えている。



### インフルエンザ予防接種の費用助成対象を広げないか

公明党 三谷 小鶴

#### ●熱中症対策やコロナ等感染症に備える今後の対策について

Q インフルエンザ予防接種は、13歳未満の子どもや中学校・高校3年の受験生には費用を助成し、65歳以上の高齢者は無償化してはどうか。

A 子どもへの費用助成は考えていないが、令和2年度に限り、定期接種者は無償化する方向で調整している。

Q 中学校の部活動で、保護者から健康面や勉強面などに心配の声があるが、熱中症対策はどう行っているか。また、テスト期間はどうか。

A こまめな水分補給のほか、屋内の運動部は冷風機を活用するなどの対策を講じている。テスト期間は、熱中症対策に限らず、活動時間の短縮などを行っている。

Q 高齢者や子供への見守りや支援について。高齢者の見守りに人感センサーなど、情報通信技術(ICT)を活用した新たなシステムを導入しないか。

A 既存のシステムで対応を続けながら、新たな機器に



### 市内産業の魅力発信に向けたさらなる取り組みを

創政会 金江 大志

#### ●我が市の魅力の発信について

Q 経済の活性化につなげるため、今後、市内産業の魅力発信にどう取り組むか。

A 商業では、新たな誘客を目指した観光事業などにより、工業では、魅力ある内容を掲載した新たな工業データベースの構築により、農業では、菜速あやせコンなど綾瀬ブランド農作物の魅力を使い、効果的に発信したい。

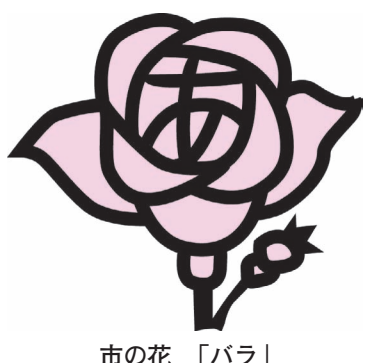
Q 現在、YouTubeで公開しているシティプロモーション動画を広めるため、新

たに検討していることは。

A 動画のタイトルで再生回数が増えるとの情報があるため、タイトルを工夫し、視聴者の興味を得られる取り組みを検討していきたい。

Q 市ホームページに、市内の魅力を特化したページがあれば相乗効果が生まれると考えるが、新たに作成しては。

A トップページに市の特色などを紹介するページを設け、各局作成のページや関連動画へ移ることが可能である。分かりやすく、検索しや



市の花 「バラ」

ついでには調査・研究していく。

Q 新型コロナウイルス感染症を踏まえ、分散避難など避難体制整備が急務と考えるが、市民への情報発信は。

A 広報あやせ9月1日号に、感染症対策を踏まえた日頃の備えや避難時の注意事項などを掲載し、周知を図った。

Q 避難所の収容可能な人数は、密を避けるため、どの程度減ると想定しているか。

A 1人当たりのスペース2平米が、密を避けると4.5平米必要となり、半数以下の人数になると想定している。

Q 一次避難所の収容可能

人数が、半数以下になることにより、二次避難所や福祉避難所の体制はどう変わるか。

A 一次避難所に収容しきれない場合、受け入れ体制が整い次第、二次避難所を開設する。福祉避難所など災害協定を締結している施設には事前に協力の要請を図るとともに、避難所以外への分散避難を市民に周知していく。

Q 自粛期間中、訪れていた施設が休館するなど気軽に会って話すことも難しくなってきたが、子育ての不安を抱えた保護者をどう支援してきたか。

A 対面での相談機会は減少したが、職員の電話やメールでの相談は中断せず、継続して実施し、支援してきた。



### 市民に寄り添った新型コロナウイルス感染症対策を

畑井 陽子

#### ●コロナ禍における市民の生活について

Q 感染が疑われる場合、生活に大きな影響が出るが、すぐに検査できない状況である。希望すれば誰でも検査できる体制を構築できないか。

A 座間綾瀬医師会に加入している医療機関を受診し、検査が必要と判断された場合は、医師会開設の検査場で検査できる体制となっている。

Q 避難所の収容可能な人数は、密を避けるため、どの程度減ると想定しているか。

A 1人当たりのスペース2平米が、密を避けると4.5平米必要となり、半数以下の人数になると想定している。

すいよう改善していく。

Q 保育士の働きやすい環境づくりを。保育士が市内に住む場合、人材確保だけでなく市内の消費拡大なども期待できるため、居住費の支援をしては。

A 民間保育所などと意見交換を続け、必要かつ有効な支援を調査・研究していく。



市の鳥 「かわせみ」